

# 女子中高生夏の学校2023 ～科学・技術・人との出会い～ 【実施要項】



## 1 趣 旨

女子中高生が「科学や技術にふれ」、その世界で生き生きと活躍する女性たちと「つながり」、科学や技術に関心のある仲間や先輩とともに「将来を考える」機会として「女子中高生夏の学校2023～科学・技術・人との出会い～」を開催します。

このプログラムでは、2泊3日の研修期間中、女子中高生が理工系の研究者や技術者、大学生・大学院生等との交流を通じて、理系進路の魅力を知り、あるいは再確認し、理工系に進もうという意思を高めることを目指しています。加えて、研修後にも女子中高生が進路選択、キャリア形成について考えを深めるための支援を行います。

## 2 主 催

NPO法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト（GSTEM-CPP）  
（協力：一般社団法人男女共同参画学協会連絡会）

## 3 後 援 （2023年後援、灰色文字は予定で確定後黒色に書き換え予定）

文部科学省  
内閣府男女共同参画局  
独立行政法人国立女性教育会館（NWE C）  
一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）  
公益社団法人高等学校文化連盟全国自然科学専門部  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
国立研究開発法人理化学研究所  
公益社団法人応用物理学会  
一般社団法人日本応用数理学会  
公益社団法人日本化学会  
一般社団法人日本原子力学会  
一般社団法人日本女性科学者の会  
日本女性技術者フォーラム  
一般社団法人日本腎臓学会  
一般社団法人日本数学会  
一般社団法人日本数式処理学会  
一般社団法人日本生態学会  
一般社団法人日本物理学会  
公益社団法人日本地球惑星科学連合  
キャタピラージャパン合同会社  
三菱ケミカル株式会社

本事業は公益財団法人森村豊明会、アジレントテクノロジー財団、メルク株式会社、KLA Foundation、BHP ジャパン株式会社からの助成・寄附を受けて実施します。

## 4 会 場

国立女性教育会館（NWE C）

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地

電 話（予約係）0493-62-6723

Eメール：yoyaku@nwec-bs.jp

U R L：https://www.nwec-bs.jp/

## 5 期 日

2023年8月5日（土）～8月7日（月）

## 6 対象・定員

女子中高生（中学3年生、高校1～3年生※） … 90名

進路選択について考えたい女子

科学・技術に興味・関心のある女子（進路の文系、理系は問いません。）

※高等専門学校1～3年生、中等教育学校等の場合は、相当する学年が対象です。

## 7 申 込

### （1）申込方法

下記のページにアクセスいただき、注意事項をよくお読みの上、「女子中高生夏の学校2023 申込フォーム」よりお申込ください。

U R L：https://natsugaku.jp

### （2）申込期間

2023年4月25日（火）～6月16日（金）午後5時まで

※応募者多数の場合は、書類選考により参加者を決定します。選考の際は、初めて参加する方を優先しますが、過去に夏学に参加した経験がある方の再参加も一定の範囲内で認めます。

※できるだけ多くの学校から参加いただくため、参加者の決定にあたっては地域バランスなどを考慮することがあります。

### （3）決定通知

参加の可否については、7月7日（金）までに本人宛にEメールにて通知します。

※以降の連絡手段は原則Eメールになりますので、@natsugaku.net からの連絡を必ず受け取れるように受信設定をご確認ください。

## 8 所要経費

（1）参加費（宿泊費及び食費を含む） 10,000円

（2）宿泊費及び食費の内訳（2泊+5回分の食事代）

【宿泊】8月5日（土）、6日（日）の2泊

【食事】8月5日（土） 夕食

8月6日（日） 朝食、昼食（弁当）、夕食

8月7日（月） 朝食

※一人当たり3,500円程の補助をしますので、10,000円をご負担ください。

※食物アレルギーがある方は、必ず参加申込の申込フォーム「連絡事項」の欄に具体的に記入してください。

※宿泊について、前泊・後泊をする場合は、別途宿泊費（1泊2,500円を予定）が加算されます。追加の食事については、ご自身で負担ください。

(3) 交通費の補助

参加女子中高生のうち、交通費が学割を適用して往復 30,000 円を超える方のみ、その費用の一部を補助する予定です（人数によっては補助できない場合があります）。

(4) 保険への加入

参加者全員に保険に加入していただきます。詳しくは参加決定時にお知らせします。

## 9 日 程

### <第1日 8月5日（土）>

#### 開校式

13:00～13:15

開会宣言	稲城 玲子	実行委員長（東京大学大学院医学系研究科特任教授）
リエンテーション	古澤 亜紀	茨城県立日立第一高等学校教諭
学生企画説明	中村樹	学生企画委員長（津田塾大学学芸学部数学科4年）
	仙石颯季	学生企画委員長（東京工業大学生命理工学院生命理工学系学士3年）

#### 学生企画 「花が咲く」キックオフ

13:15～13:35

夏学の始まりに当たり、「夢」を書き出します。（この時点では白紙でも構いません。）

#### キャリア講演

13:45～15:00

女子中高生にとって魅力的な科学・技術の研究や開発を行っている方から、現在の生活や仕事のことなど理系進路の魅力についてお話を伺い、将来理系で学ぶこと、働くことの意義や理系進路の多様性について理解を深めます。

「創造する未来」（仮） 藤井輝夫 東京大学総長

「名前のない仕事を創る『工学』」

講師 田島 理奈 田島理奈設計事務所 代表

「金融インフラをささえ、市場を創る仕事 - 理系としての経験を活かす」（仮）

講師 川久保 佐記 株式会社東京証券取引所

カーボン・クレジット市場整備室 課長

#### 学生企画 「あつまれリケジョの森」

15:15～16:15

クイズやミニゲームで緊張をほぐすとともに、お互いを知りながら仲を深め、夏学の居場所を見つけます。

#### 学生企画 「仲間と解く！サイエンスクイズ」

17:00～18:00

クイズを通して科学を身近に感じながら、班員同士でコミュニケーションを取ること、生徒同士の仲をより一層深めます。

#### 夕 食

18:00～19:00

#### 学生企画 「talk. talk. talk!!」

19:00～20:00

今年のテーマでもある「居場所」を見つけるため、班員以外の参加者と交流する企画です。様々な人と交流することで、「悩んでいるのは自分だけではない」ことに気付いていきます。コロナ禍で、初対面の人と交流できる機会が少ない中でも、話すことの勇気を持ち、交流を楽しんでください。

<第2日 8月6日(日)>

**サイエンスアドベンチャーⅠ「ミニ科学者になろう」** 9:00～11:30  
理系の専門分野の研究者・技術者の指導の下、実験・実習にじっくりと取り組みます。実験を行うだけでなく、実験の意味や結果について考察してみましょう(参加者決定後、実験・実習の希望調査を行います)。

**昼食** 11:30～12:45  
**集合写真の撮影** 12:45～13:00

**サイエンスアドベンチャーⅡ「研究者・技術者と話そう」** 13:00～14:55  
協力学会、企業、大学から様々な理系キャリアを歩んでいる人がポスター展示や演習実験を行います。最先端の技術や各分野で必要となる基礎知識、さらにその分野で活動する人がどのようなライフスタイルをとっているのかを知る機会です。研究者、技術者、女子大学生・大学院生に進路選択やキャリアに関する疑問や不安を相談する機会としても活用してください。

**進路・キャリア相談カフェ(仮)** 15:10～16:25  
女子中高生が理系の進路についてさらに深く知るため、理系の学びや進路・留学などについて、多様な理系分野の様々な年代の人々と話し合います。

**学生企画 「夢を形に ～未来予想図を作ろう～」** 16:45～17:30  
18:45～20:00  
研修で受けた刺激を自分の将来への展望と重ね合わせ、キャリアプランとしてアウトプットします。現在の自分の思いや夏学での繋がりを残し、将来への足掛かりとなるこれからのタイムラインを作成します。

**交流会** 17:40～18:45  
夕食をとりながら、参加者同士、講師や実行委員、女子大学生・大学院生と交流します。

<第3日 8月7日(月)>

**学生企画 「夢を形に ～未来予想図を作ろう～」発表会** 9:00～10:55  
前日に作成したタイムラインを用いて、他の班の人に対してキャリアプランを発表します。発表終了後のディスカッションでは、他の班の発表を聞いた感想と各班で共通する目標や課題などのグルーピングを行います。

**学生企画 「花が咲く」ラップアップ** 11:10～12:00  
参加者が一堂に会し、3日間の振り返りを学生スタッフの企画により行います。

**修了証授与、閉校式** 12:00～12:15  
稲城 玲子 実行委員長(東京大学大学院医学系研究科特任教授)

## 10 参加にあたって

- (1) 本事業の活動・成果を普及するため、当日の様子を録画・撮影して「女子中高生夏の学校」及び主催 NPO 法人のホームページ・SNSに掲載あるいは各種会議等で報告する予定です。あらかじめご承知おきください。
- (2) 施設利用にあたっては、国立女性教育会館の方針に従ってください。

## 11 交通案内

<https://www.nwec.go.jp/access/> をご覧ください。